

平成 27 年度(2015 年度)
年 次 報 告 書

一般社団法人日本臨床心理士会

東京都文京区本郷二丁目 27 番 8 号

目 次

I. 平成 27 年度 事業報告書

はじめに.....	1
1. 委員会活動報告.....	2
(1) 編集委員会.....	2
(2) 倫理委員会.....	2
(3) 医療保健領域委員会.....	3
(4) 産業・組織領域委員会.....	3
(5) 被害者支援委員会.....	4
(6) 教育領域委員会.....	4
(7) 私設心理相談領域委員会.....	5
(8) 福祉領域委員会.....	5
(9) 司法矯正領域委員会.....	7
(10) 支援事業委員会.....	7
2. プロジェクトチーム活動報告.....	7
(1) 資格法制化プロジェクトチーム.....	7
(2) 横断的課題検討プロジェクトチーム.....	8
3. 臨床心理講座・研修会開催状況.....	10
4. 電話相談事業.....	13
5. 雑誌、ニュースレター、資格問題の諸情報・電子版速報の発行.....	14
6. ホームページの利用状況.....	16
7. 行政機関、他機関・団体への委員・役員等の選出状況.....	18
8. 後援名義使用承認一覧表.....	19
9. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項.....	20
(1) 代議員会開催状況.....	20
(2) 理事会開催状況.....	20
(3) 常任理事会開催状況.....	21

II. 平成 27 年度決算報告書

貸借対照表等決算書類.....	22
役員名簿.....	41
代議員名簿.....	42

平成 27 年度 事業報告書

はじめに

平成 27 年度は一般社団法人として発足第 3 期の初年度にあたり、年度計画に基づき、以下の取り組みを行った。

第 1 公益法人化

公益法人化に向けて資料の追加など必要な手続きを進めたが、公認心理師法の成立、公布によって、申請内容の記述が現状を反映していないため、既存の申請を取り下げ、再申請を行うこととした。

第 2 国家資格化創設

当会の念願であった心理職の国家資格制度創設が実現し、平成 27 年 9 月 16 日に公認心理師法が公布された。これを受け、当会としての運営方針を次のとおり理事会として決議するとともに、電子版速報や、雑誌、ニュースレター等により、会員へのタイムリーな情報提供を行った。

当会がこれまでに培ってきた社会的な信頼と実績に基づき、より一層社会の負託に応え、社会的使命を果たす心理専門職の職能団体となるべく、時機に応じて定款を変更し、公認心理師を含む心理専門職の職能団体となる方向を目指す。

第 3 災害への備え

平成 26 年度に横断的課題検討プロジェクトチームに設けた災害対策構想班において、今後の災害支援システムを検討し、災害支援本部の設置やブロック構想、各県臨床心理士会との連携システム、他団体との連携等についての具体的構想の策定を進めた。

第 4 委員会等組織体制の再編

各委員会及びプロジェクトチームの継続的活動を基本としつつ、新たに支援事業委員会を設け、既に実施している電話相談事業に加え、ひきこもり家族等への支援事業の実施に向けた検討を行った。また、福祉領域委員会の発達障害支援専門部会について、発達障害のみならず、身体、知的、精神（発達障害を含む）等の障害を対象とする障害支援専門部会に再編した。

なお、各委員会等の事業報告は次々頁以降のとおりである。

第 5 事務局体制の充実

業務量の増加に応じ事務体制を整備すること、及び各委員会等へのサポート体制を強化するため、平成 28 年 4 月 1 日付で事務局支援事業部に専門職員 1 名を増員することを決定した。また、業務の効率化に向け、臨床心理講座の受講申し込み受付の電子化やホームページの継続的整備を実施した。

【平成 27 年度 会員の動向】

平成 26 年度末会員数	19,171 名		
平成 27 年度入会者	893 名	退会者	427 名
平成 27 年度末会員数	19,637 名		

1. 委員会活動報告

(1) 編集委員会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
委員長	徳丸 享	1. 委員会を 5 回 (4/6、8/27、11/23、1/24、2/28) 開催した。 2. 雑誌 79 号を平成 27 年 7 月 31 日に刊行し、8 月初旬に会員等に発送した。 3. 雑誌 80 号を平成 28 年 1 月 31 日に刊行し、2 月初旬に会員等に発送した。 4. 協力委員を 1 名増員した。 5. 本誌編集においては、執筆ガイドを更新し、表記の統一性の向上を図ったほか、表紙の記事リストではタイトルが一目でわかるよう表示を工夫した。 6. 雑誌とニュースレターの発行時期と内容について調整し、相互補完性を高め、会員への情報伝達の充実を図った。 7. 医学中央雑誌刊行会から、当会雑誌を「医中誌 Web」のためのデータベースの収録対象誌としたいとの申し出があり、応ずることとした。
担当役員	平野 学	
委員	今井 たよか	
委員	竹林 一恵	
委員	松浦 慶子	
協力委員	厚坊 浩史	

(2) 倫理委員会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
委員長	宇田川 一夫	1. 委員会を 5 回 (9/6、10/17、11/22、1/10、3/6) 開催した。 2. 会員の倫理意識の向上のための啓発活動 (1) 「倫理ガイドライン」の内容を会員及び都道府県臨床心理士会倫理担当役員向け研修講師を青森県、山形県、滋賀県、沖縄県へ派遣した。 (2) 全国の会員向けに倫理能力の向上と「倫理ガイドライン」の理解を深めるために一般会員向け倫理研修会を平成 27 年 10 月 17 日東京ビックサイドで開催した。 3. 倫理をめぐる相談・苦情および倫理違反への対応を行った。 4. 内外組織との連携 (1) 特にロールシャッハ図版に関して、「日本ロールシャッハ学会」「日本包括的ロールシャッハ学会」「日本心理臨床学会」と連携して対応した。 (2) 倫理問題で当会の他の委員会、SV に関して理事会に情報提供した。 5. 倫理規程・綱領の改訂および倫理ガイドライン、対応指針の見直しを継続。

* 委員名：外部非公表

(3) 医療保健領域委員会

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
委員長	花村 温子	<p>1. 委員会は7月に発足し、4回(9/5、10/31、12/5、2/13)実施した。普段はメーリングリストで活発な意見交換を行っている。</p> <p>2. 前期に引き続き、チーム医療関連の活動に積極的に取り組んでいる。(チーム医療推進協議会、日本精神神経学会多職種協働委員会、日本総合病院精神医学会リエゾンコメディカル委員会など多数)必要に応じて委員などの立場で参画し、意見交換、臨床心理士としての意見の発信につとめた。</p> <p>3. 平成28年度診療報酬改定に向けて、資料として提出できるエビデンスデータの収集を行い、とりまとめた上、平成27年9月24日に当会からの要望書を厚生労働省宛提出した。</p> <p>4. 第22回医療保健領域研修会を平成28年2月14日(日)、大阪科学技術センターで行った。</p> <p>5. 第6回都道府県臨床心理士会医療保健担当者研修会を平成27年12月6日(日)ホテル機山館で開催した。</p> <p>6. 当会雑誌80号に「チーム医療の一員としての臨床心理士」として原稿を執筆し、会員への情報提供に努めた。また、当委員会が実施した各種アンケート結果をホームページに掲載した。</p> <p>7. 心理専門職の国家資格化に向け、資格法制化PTなどとの協働、情報交換を行ってきた。「公認心理師法」成立後も、今後に向けさらに情報共有を行い、協働している。</p> <p>8. 今期もセクション別の班に分かれて、機能的な委員会活動を行ってきた。他のPTの活動に、医療保健領域の委員として協力をを行った。また常に事務局、執行部などとの密な情報交換、連携を行っている。</p>
担当役員	津川 律子	
副委員長	江口 昌克	
副委員長	福田 由利	
副委員長	藤城 有美子	
委員	河西 有奈	
委員	北吉 直子	
委員	小林 清香	
委員	小林 仁志	

(4) 産業・組織領域委員会

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
委員長	平野 学	<p>1. 委員会を6回(5/10、8/23、10/3、12/6、2/20、3/5)開催した。</p> <p>2. 第10回研修会を平成27年10月17日(土)に東京で、更に第11回を平成28年2月13日(祖)の大阪で開催した。</p> <p>3. 平成27年9月20日(日)に日本心理臨床学会自主シンポジウムとして「産業・組織心理臨床におけるクライアントが抱える問題への直面化をめぐる」と題して行った。尚、同年9月19日(土)に、復職支援をめぐる大会シンポジウムにも協力した。</p> <p>4. 平成27年5月14日(木)、日本産業衛生学会(大阪大会)における「産業心理技術研究会」の開催に協力した。</p> <p>5. 東京経営者協会での活動を継続しつつ、様々な連携を図った。</p> <p>6. 講師派遣を9県の臨床心理士会で行った。</p> <p>7. ストレスチェック制度の関連で、心理職としての関与をアピールする意味で、パブリックコメントで意見表明したり、厚生労働省の担当者への働きかけを行った。</p> <p>8. 担当者研修会を平成28年3月5日(土)に開催した。</p> <p>9. 臨床心理講座でシリーズ講座等の開催を継続した。</p>
担当役員	野島 一彦	
副委員長	足立 智昭	
副委員長	新田 泰生	
副委員長	種市 康太郎	
委員	市川 佳居	
委員	島津 明人	
委員	松浦 真澄	
協力委員	藤里 智子	
協力委員	三宅 美樹	
協力委員	森口 修三	

(5) 被害者支援委員会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
委員長	川畑 直人	<p>1. 委員会を 2 回 (9/27、2/27) 開催した。</p> <p>2. 被害者支援研修会の開催 平成 27 年 7 月 12 日 (日) に鹿児島県で実施した。 191 人が参加した。 午前の全体会は、陸前高田病院の上野医師の講演、午後は 3 つの分科会でワークショップを実施した。</p> <p>3. 都道府県担当者研修会の開催 平成 27 年度から日帰り形式に変更し、会場も機山館 (東京) とし、平成 28 年 2 月 28 日 (日) に開催した。45 都道府県が参加した。 午前は災害支援のシンポジウム、午後は関連する各領域についてパネル発表後にバズセッションを実施した。</p> <p>4. 災害支援構想班の体制整備への協力 担当者研修会で地区ブロックごとのバズセッションを行い、ブロック内の連携強化を図った。</p> <p>5. 平成 27 年 10 月 18 日 (日) に近畿地区の被害者支援研修会で中垣副委員長が図上訓練を実施した。</p>
担当役員	野島 一彦	
副委員長	中垣 真通	
委員	稲本 絵里	
委員	浦田 英範	
委員	小澤 康司	
委員	米田 弘枝	
協力委員	池田 美樹	
協力委員	富永 良喜	

(6) 教育領域委員会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
委員長	高田 晃	<p>1. 委員会を 4 回 (4/25、6/7、9/12、12/13) 開催した。</p> <p>2. 学校臨床心理士ワーキンググループ活動への協力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 20 回学校臨床心理士全国研修会の開催 平成 27 年 8 月 22 日～23 日 於：武庫川女子大学 テーマ：「スクールカウンセラー事業 20 周年」 ・ 第 34 回日本心理臨床学会委員会企画シンポジウムを開催 平成 27 年 9 月 19 日 於：神戸国際展示場(企画 村山正治) テーマ：「不登校に対する学校臨床心理士 (スクールカウンセラー) の有効な支援とこれからの展望」 ・ 調査 SC の全国調査 (SC について、都道府県レベルの組織の実態を再確認) 12/25～1/15 第 44 回「学校臨床心理士」担当理事・コーディネーター 全国連絡会議 (3/27) で結果を報告 <p>3. 定例研修会 (秋季) 東京 第 2 回教育領域研修会の開催 テーマ「教育相談のこれまでとこれから」</p> <p>4. 文部科学省のヒアリング等への協力 不登校関連、チーム学校関連、教育相談関連</p>
担当役員	村瀬 嘉代子	
副委員長	村山 正治	
委員	石川 悦子	
委員	窪田 由紀	
委員	倉光 修	
委員	高野 久美子	
協力委員	岩城 衆子	
協力委員	堀 英太郎	

(7) 私設心理相談領域委員会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
委員長	信田 さよ子	1. 委員会を 3 回 (10/12、12/20、2/14) 開催した。 2. 第 10 回私設心理相談領域研修会に関しては、当初予定した開催時期を変更し、平成 28 年 2 月 14 日 (日)、大阪で行なった。 3. 「公認心理師法」の成立を受け、当初の計画を変更して、今後に向けて様々な意見交換した。
担当役員	津川 律子	
委員	窪田 容子	
委員	田中 究	
委員	細野 正美	
委員	村上 雅彦	
協力委員	田中 ひな子	
協力委員	平野 学	

(8) 福祉領域委員会

委員長：高橋 幸市 担当役員：花村 温子

① 保育臨床専門部会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
部会長	滝口 俊子	1. 保育心理臨床活動の発展へ向けて検討するために、部会を 3 回 (10/24、1/30、2/13) 開催した。 2. 保育心理臨床のレベルアップに向けて、「第 8 回保育心理臨床研修会」を開催した。平成 28 年 2 月 14 日 (大阪) 3. 日本心理臨床学会第 35 回秋季大会においてシンポジウムを開催する企画を作ったが、開催を見合わせる事となった。
委員	菅野 信夫	
委員	吉田 弘道	
協力委員	飯長 喜一郎	
協力委員	坂上 頼子	
協力委員	馬見塚 珠生	

② 障害支援専門部会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
部会長	工藤 剛	1. 部会を 6 回 (7/25、9/26、11/14、12/19、1/23、3/26) 開催した。 2. 第 8 回 (発達) 障害の理解と支援に関する総合研修会を開催した。 平成 27 年 10 月 17 日・18 日 東京ビッグサイト 1,000 名 平成 28 年 2 月 13 日・14 日 大阪科学技術センター 600 名 3. 日本発達障害ネットワーク (JDDnet) の活動に協力した。 1) 府省等への要望活動に協力 2) 第 11 回年次大会 東京開催に協力した。 3) 災害支援として福島障害児放課後支援ゆうゆうクラブに 9 名の専門家を派遣した。 4) 職能団体として発達障害支援領域の多職種連携委員会の活動に協力した。 5) ゆうゆうクラブの 4 年間の支援のまとめ WG に参加協力した。 6) 財政的基盤を強化する諸活動に協力した。 4. 文部科学省の第 13 回特別支援教育ネットワーク推進委員会に出席し、SC 活動における発達障害児支援について発表した。 5. 7 月からの第 3 期前期の部会活動において、部会名称を新たにし、「四障害領域の情報を収集するとともに、「障害領域における当会の進むべき道」について議論を深めた。
委員	工藤 宏子	
委員	黒澤 礼子	
協力委員	四ノ宮美恵子	
協力委員	日戸 由刈	
協力委員	二口 繭子	

③ 子ども家庭支援専門部会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
部会長	高橋 幸市	1. 部会を 5 回 (9/6、10/18、12/6、1/16、3/13) 開催した。 2. 定例研修会の開催 平成 27 年 10 月 18 日 (日) 東京ビッグサイト 参加者：220 名 テーマ「乳幼児健診からはじまる子ども家庭支援」 3. 都道府県臨床心理士会担当者研修会の開催 平成 27 年 12 月 6 日 (日) エムワイ貸会議室お茶の水 参加者：39 名 テーマ「子ども家庭支援領域における都道府県臨床心理士会の育成の取り組みー情報発信・サポート体制・研修/育成の視点からー」 4. 臨床心理士子育て支援合同委員会への協力 1) 平成 27 年度子育て支援講座 (7/5 京都国際会館) 2) 雑誌「子育て支援と心理臨床」編集作業 3) 日本心理臨床学会神戸大会に企画シンポジウム「大災害を経験した子育て支援システム～破壊・再建・発展～」の開催 5. 健やか親子 21 (第 2 次) への参加協力
委員	川畑 隆	
委員	田中 周子	
協力委員	大内 雅子	
協力委員	杉田 祐美子	
協力委員	田崎 美佐子	

④ 社会的養護専門部会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
部会長	増沢 高	1. 部会を 2 回 (10/11、12/12) 開催した。 2. 当会雑誌 80 号に児童虐待の現状を紹介する記事「社会的養護通信No.4」を寄稿した。 3. 平成 27 年度定例研修会Ⅱ (大阪) において、第 5 回社会的養護専門研修会を開催した。午前の全体会では関係法令について対談を行い、午後は「社会的養護における心理面接」と「良好なチームづくりのために」のテーマで 2 分科会に分かれてシンポジウムを行った。参加者：133 名 4. 国家資格「公認心理師」が創設され、養成課程が検討されるため、部会独自のプロジェクトを進めることは見合わせることにした。
委員	内海 新祐	
委員	中垣 真通	
委員	藤澤 陽子	
協力委員	杉山 史恵	
協力委員	南山 今日子	

⑤ 高齢者支援専門部会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
部会長	松田 修	1. 定例研修会Ⅰ (東京) と定例研修会Ⅱ (大阪) において、高齢者支援で活動する会員向けに、高齢者心理臨床の実践や研究に関する最新の知識や技能向上の獲得を目的とした研修会を開催した。 参加者：100 名 (東京)、137 名 (大阪)
委員	小野寺 敦志	
委員	山中 克夫	
協力委員	宮本 典子	
協力委員	若松 直樹	

(9) 司法矯正領域委員会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
委員長	片岡 玲子	1. 委員会を 3 回 (9/13、10/18、1/31) 開催した。 2. 定例研修会の実施結果等を当会雑誌に寄稿し、委員会活動の広報に努めた。 3. 法務省専門職員採用試験、刑事施設における処遇カウンセラーの採用情報等の広報に協力した。 4. 平成 27 年 10 月 18 日 (日) の定例研修会 I (東京) において、第 6 回司法矯正領域研修会を開催した。 5. 平成 28 年 2 月から 3 月にかけて、講師派遣を 4 件行うこともあり、平成 28 年 2 月の研修会開催は見合わせた。 6. 講師派遣を 9 県臨床心理士会で行った。 7. 司法矯正領域については、その業務内容が十分理解されていない面があるので、様々な機会をとらえて広報を実施した。
担当役員	川畑 直人	
副委員長	渡邊 悟	
委員	押切 久遠	
委員	菊池 安希子	
委員	町田 隆司	
委員	遊間 千秋	
委員	吉村 雅世	
協力委員	今村 洋子	

(10) 支援事業委員会

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
委員長	鶴 光代	1. 委員会を 4 回 (9/15、11/17、1/12、3/22) 開催した。 2. 事務局支援事業部と連携して相談会の企画を進めた。 3. ひきこもり支援団体 (5 団体) に訪問等を行い、臨床心理士によるひきこもり支援ネットワーク作り準備に向けての情報収集を行った。
担当役員	奥村 茉莉子	
委員	齋藤 ユリ	
委員	水谷 孝之	
協力委員	井利 由利	
事務局	倭文 真智子	

2. プロジェクトチーム活動報告

(1) 資格法制化プロジェクトチーム

メンバー	氏名	平成 27 年度事業報告
代表	野島 一彦	1. PT 会議を 5 回 (5/23、9/23、10/12、11/21、3/27) 開催した。 2. 三団体の一員としての当会の方針に基づき、資格法制化の実現に向けて、議員への陳情、会合への参加等の活動を行った。 3. 資格法制化をめぐる会員への情報提供として、希望する都道府県士会への説明集会、雑誌、電子版速報、ニュースレター、ホームページでのお知らせ等を通じて行なった。
副代表	徳丸 享	
委員	今井 たよか	
委員	奥村 茉莉子	
委員	片岡 玲子	
委員	高田 晃	
委員	津川 律子	
委員	平野 学	
協力委員	宇田川 一夫	
協力委員	佐藤 由佳利	
協力委員	高橋 幸市	

(2) 横断的課題検討プロジェクトチーム

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
代表	津川 律子	1. 全体会議を3回(9/5、10/9、3/20)、開催した。 2. 自死予防専門班、災害対策構想班、研修企画検討班、アクション対策専門班、ひきこもり対策構想班と、5つある班の活動について、全体的かつ総合的な視点から話し合った。 3. 各班やプロジェクトチームのあり方等に関して話し合った。 4. 各委員会の枠を出るような課題に関して、委員会と委員会の間をつなぐ活動を行った(災害対策構想班等)。 5. その他、臨床心理士をとりまく横断的課題に関して、話し合った。
担当役員	奥村 茉莉子	
委員	常任理事会	
協力委員	各委員会委員長	

① 自死予防専門班

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
班長	津川 律子	1. 班会議を4回(9/18、10/17、12/12、3/20)開催した。 2. 内閣府、厚生労働省、文部科学省、関係団体などの関係会議に出席し、自死に関する内外の動向を共有し、臨床心理士の視点から発言した。 3. 平成27年10月17日(土)に第2回自死予防専門研修会を開催した。 4. 平成27年3月の自殺予防強化月間に合わせて実施した「全国一斉こころの健康電話相談」(平成27年3月1日実施)における自殺念慮等の訴えについて統計的に把握した。 5. 平成27年7月1日(水)～9月16日(水)に、第2回「自死関連」の心理臨床アンケートを実施し、その結果を速報として当会HPに掲載した。 6. 日本心理臨床学会自殺対策専門部会との連携を適宜行った。 7. 当会として長期の自死予防活動について話し合った。 8. 「自殺対策を推進する議員の会」のヒアリングに協力した。 9. 当会の臨床心理講座において初めて、自死予防専門講座1と2を班員総出で2日間、開催した。 10. その他、自死予防に関して必要な諸活動を行った。
副班長	徳丸 享	
委員	勝又 陽太郎	
委員	窪田 由紀	
委員	水谷 孝之	
協力委員	高橋 幸市	
協力委員	花村 温子	
協力委員	三宅 美樹	

② 災害対策構想班

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
班長	奥村 茉莉子	1. 班会議を4回(9/4、10/30、1/22、3/25)開催した。 2. 災害担当者会議は実施しなかった。代わりにDMAT研修(初級、上級)を全国各都道府県臨床心理士会に案内し、初級には18名の参加及びファシリテーター2名の派遣を行った。 3. 研修会の計画を進め、次年度開催に向け準備した。 4. 日本赤十字社との協定に向けて連携会議に参加し、心理社会的支援に関してさらに検討することになった。 5. 被害者支援委員会との活動内容の棲み分けについて検討した。また、教育領域委員会、医療保健領域委員会からオブザーバー参加を求め、役割分担の検討を進めた。 6. 心理社会的支援に関する心理職向けの書籍を当会監修として出版する計画を進め、併せて臨床心理士のための再学マニュアルの作成を推進中である。
副班長	川畑 直人	
委員	池田 美樹	
委員	小澤 康司	
協力委員	今村 友木子	
協力委員	小俣 和義	
協力委員	中津 大介	
協力委員	宮崎 圭子	
オブザーバー	石川 悦子	
オブザーバー	小林 清香	

③研修企画検討班

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
班長	野島 一彦	1. 班会議を2回（11/29、3/23）開催した。 2. 過去に行われてきた臨床心理センター講座を振り返って、職能団体としての講座として過不足を検討し、今後の具体的な講座テーマを見出すことはできなかった。 3. 平成27年3月から4月にかけて1ヵ月弱のDVD配信のトライアルを行ったが、概ね好評であった。 4. スーパービジョンのあり方等について検討し、平成28年1月から3月にかけてスーパービジョン仲介を試行的に行った。
委員	奥村 茉莉子	
委員	川畑 直人	
委員	津川 律子	
委員	橋本 和明	
委員	村瀬 嘉代子	
協力委員	花村 温子	
協力委員	藤原 俊通	

③ アディクション対策専門班

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
班長	平野 学	1. 班会議を2回（8/8、1/17）開催した。 2. 第3回の研修会を平成27年10月18日（日）、東京で開催した。 3. 当会雑誌79号及び80号において、学会情報や研修会報告等を寄稿した。 4. 「日本アルコール関連問題学会」（平成27年10月）や「インターネット依存国際ワークショップ」（平成27年11月）に班員が参加・協力した。 5. 薬物依存やギャンブル依存に関して、情報収集等、進めた。
副班長	信田 さよ子	
委員	石川 雅子	
委員	河西 有奈	
委員	三原 聡子	
協力委員	奥田 由子	
協力委員	中村 圭助	

④ ひきこもり対策構想班

メンバー	氏名	平成27年度事業報告
班長	奥村 茉莉子	1. 班会議を3回（9/26、10/17、2/5）開催した。 2. 平成27年10月の定例研修会I（東京）において第2回研修会を開催した。（参加者71名）。 3. 臨床心理講座に2回計10時間のシリーズ講座を開催した。 4. 会員用のガイドンステキストについては、平成28年度作成に向け検討を進めた。
副班長	高田 晃	
委員	江口 昌克	
委員	高橋 幸市	
協力委員	高塚 雄介	

3. 臨床心理講座・研修会開催状況

(1) 臨床心理講座開催状況

4	19	10:30	16:30		49
5	9	10:30	16:30		33
5	9	18:00	20:30	SC 2.5 × 8	37
5	10	10:30	16:30		45
5	23	10:30	16:30		45
5	24	10:30	17:30		30
6	28	10:30	16:30		50
7	5	10:30	16:30		49
7	18	10:30	16:30		50
7	19	10:30	16:30	1	28
7	26	10:30	16:30		49
8	23	10:30	16:30		38
8	29	10:30	16:30		25
8	30	10:30	16:30	2	42
9	6	10:30	16:30		49
9	13	10:30	16:30	3	36
9	21	10:30	17:30		30
9	23	10:00	16:00		46
9	27	10:30	16:30	WISC-	50
10	4	10:30	16:30	4	27
10	11	10:30	16:30	1	45
10	31	10:30	16:30		42
11	1	10:30	16:30		39
11	7	10:30	16:30		49
11	8	10:30	16:30		32
11	28	10:30	16:30	5	27
11	29	10:30	16:30	2	47
12	6	10:30	16:30	6	25
12	12	10:30	16:30	1	46

12	13		10:30 16 30	2	48	
12	20		10:30 16 30	2	39	
12	27		10:30 16 30		42	
1	9		10:30 16 30		41	
1	10		10:30 16 30		44	
1	11		10:30 17 30		28	
1	17		10:30 16 30	7	30	
1	31		10:30 16 30	WISC- -	92	
2	13		10:30 16 30		45	
2	14		10:30 16 30		47	
2	20		10:30 16 30	1	45	
2	21		10:30 16 30	2	44	
2	27		10:30 16 30	8	33	
2	28		10:30 16 30		43	
3	5		10:30 16 30		42	
3	6		10:30 16 30		44	
3	19		10:30 16 30		41	
3	20		10:30 16 30		44	
					47	1,952

(2) 研修会開催状況

① 定例研修会等

研修会名：日程		会 場	参加者
定例研修会Ⅰ 27年10月17日 (土)～18日(日)	第8回(発達)障害の理解と支援に関する総合研修会前期1	東京ビッグサイト	459
	第10回産業・組織心理臨床専門研修会		287
	第2回自死予防専門研修会		127
	第7回臨床心理士のための倫理ワークショップ		58
	第8回(発達)障害の理解と支援に関する総合研修会前期2		367
	第2回教育領域研修会		57
	第14回子ども家庭支援専門研修会		236
	第10回高齢者支援研修会		100
	第6回司法矯正領域研修会		123
	第3回アディクション心理臨床研修会		257
	第2回ひきこもり対策研修会		71
合 計			2,142
定例研修会Ⅱ 28年2月13日(土) ～14(日)	第8回(発達)障害の理解と支援に関する総合研修会後期1	大阪科学技術センター	295
	第11回産業・組織心理臨床研修会		87
	第5回社会的養護専門研修会		133
	第11回高齢者支援研修会		137
	第8回(発達)障害の理解と支援に関する総合研修会後期2		305
	第22回医療保健領域研修会		233
	第10回私設心理相談領域研修会		119
	第8回保育心理臨床研修会		74
合 計			1,383
その他 27年7月12日(日)	第17回被害者支援研修会	鹿児島女子短期大学	191
その他 27年8月9日(日)	子どもの引き取り執行への立会い、補助に関する研修会 ～紛争解決の実際場面に臨む面接者のあり方～	東京家政大学	63

② 都道府県臨床心理士会担当者研修会

研修会名	日 程	会 場	参加者
医療保健領域担当者研修会	27年12月6日	ホテル機山館	40
子ども家庭支援担当者研修会	27年12月6日	エムワイ貸会議室お茶の水	39
被害者支援担当者研修会	28年2月28日	ホテル機山館	44
産業・組織領域担当者研修会	28年3月5日	東京理科大学	41
合 計			164

4. 電話相談事業

(1) 定例電話相談：毎週月・水・金曜日（9：00～12：00）、月～金曜日（19：00～21：00）

平成27年度 3,013件（月平均：251件）

*平成26年度 2,290件（月平均：191件）

【月別受電件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
253	232	268	258	234	238	269	259	234	239	265	264	3,013

(2) 第17回こころの健康電話相談

平成28年3月6日（日）に全国35都道府県臨床心理士会との共催で実施

*一昨年度より、内閣府の自殺対策強化月間にあわせて開催

平成27年度：346件 *平成26年度：363件

【都道府県別実施状況】

No.	都道府県	電話台数	受電件数	相談人員	その他スタッフ	No.	都道府県	電話台数	受電件数	相談人員	その他スタッフ
1	北海道	3	18	15	3	19	滋賀	1	2	5	3
2	岩手	2	11	6	4	20	大阪	3	10	12	11
3	宮城	2	2	2	9	21	和歌山	1	9	3	0
4	秋田	1	2	2	4	22	鳥取	2	2	2	10
5	山形	1	7	4	8	23	島根	2	3	10	2
6	福島	2	10	8	7	24	岡山	2	24	12	2
7	茨城	2	26	7	3	25	山口	2	8	5	4
8	栃木	1	5	5	1	26	徳島	1	6	6	4
9	群馬	1	7	5	3	27	香川	3	17	9	3
10	千葉	1	7	4	2	28	愛媛	2	28	12	10
11	東京	2	12	11	7	29	高知	1	6	3	1
12	山梨	2	8	9	3	30	佐賀	2	0	0	8
13	長野	3	22	15	2	31	長崎	1	1	1	11
14	新潟	2	12	12	5	32	熊本	2	12	7	3
15	福井	2	7	4	0	33	大分	1	11	6	11
16	静岡	2	5	5	7	34	鹿児島	1	3	3	30
17	愛知	2	21	9	1	35	沖縄	1	11	7	12
18	三重	2	11	7	3	合計		61	346	233	170

5. 雑誌、ニュースレター、資格問題の諸情報・電子版速報の発行

(1) 雑誌

号数	発行日	主要掲載記事
79号	平成27年7月31日	<p>巻頭言「第3期の発足にあたって」</p> <p>役員会報告</p> <p>第3期第1回代議員会・第3期前期第1回理事会開催報告</p> <p>特集—緊急支援と危機管理</p> <p>法律家と臨床心理士の連携</p> <p>学校における緊急支援</p> <p>産業・組織領域における緊急時のストレスケアをめぐって</p> <p>社会のニーズと心理臨床</p> <p>高次脳機能障害当事者家族の声</p> <p>高次脳機能障害に対する臨床心理士の取り組み</p> <p>資格法制化</p> <p>資格法制化問題の諸情報（第63報）</p> <p>横断的課題に対する取り組み（第4報）</p> <p>自死予防対策の近況</p> <p>災害対策研修会報告と当会の活動に向けて</p> <p>「インターネット配信の試験稼働」と「スーパービジョン仲介の模索」</p> <p>アディクションに関連する学会や研修会等の関わりから</p> <p>ひきこもり対策構想班の研修と今期の取り組み</p> <p>三団体の合同活動</p> <p>スクールカウンセラー事業にかかわる新しい動向</p> <p>臨床心理士三団体による「子育て支援合同委員会」から</p> <p>諸領域の動向と委員会活動</p> <p>震災心理支援</p> <p>東日本大震災心理支援センターの運営報告</p> <p>都道府県臨床心理士会の活動から</p> <p>石川県臨床心理士会/沖縄県臨床心理士会</p>
80号	平成28年1月31日	<p>巻頭言「公認心理師法の成立を受けて」</p> <p>役員会報告</p> <p>理事会・臨時代議員会他</p> <p>特集—公認心理師法成立</p> <p>資格法制化問題の諸情報（第64報）</p> <p>公認心理師法の成立に寄せて</p> <p>公認心理師法成立にあたって</p> <p>社会の期待に応えて</p> <p>社会のニーズと心理臨床</p> <p>チーム学校の構想と心理職への要望</p> <p>チーム学校において心理職に要望される専門性</p> <p>横断的課題に対する取り組み（第5報）</p> <p>自死予防をめぐる最近の動きと当会の取り組み</p> <p>災害対策構想班の取り組み</p> <p>研修企画検討班の当面の課題</p> <p>私たちが出会うアディクション</p> <p>ひきこもり対策構想班の取り組み</p> <p>三団体の合同活動</p> <p>第20回学校臨床心理士全国研修会報告</p> <p>臨床心理士による子育て支援活動</p> <p>諸領域の動向と委員会活動</p> <p>震災心理支援</p> <p>福島県支援のいま</p> <p>都道府県臨床心理士会の活動から</p> <p>秋田県臨床心理士会/高知県臨床心理士会</p>

(2) ニュースレター

No.	発行日	主要掲載記事
No.12	平成 27 年 6 月 12 日	<p>会長挨拶「日本臨床心理士会第3期体制が発足しました」 代議員会・理事会開催報告 第3期第1回代議員会、第3期前期第1回理事会 資格関連最新情報 資格法制化の動向 各委員会等活動から 災害支援関連の情報 東海新報社記者鈴木英里氏：「心の支え」何よりの支援に 多職種連携による「JDDnet 災害支援の報告書」 北から南から：広島県臨床心理士会 大規模土砂災害に関するお礼とご報告 事務局からのお知らせ 臨床心理講座のウェブ申込の開始について 研修案内 平成 27 年度臨床心理講座の予定 平成 27 年度定例研修会の開催予定</p>
No.13	平成 27 年 9 月 29 日	<p>会長挨拶「公認心理師法が成立しました」 理事会開催報告 第3期前期第2回、第3回、第4回理事会 都道府県臨床心理士会会長・事務局担当者懇談会開催予定 公認心理師法成立のお知らせ 公認心理師法成立を祝う会の開催報告 村瀬会長挨拶 第3期前期委員会・プロジェクトチームより 臨床活動に関する新情報 チーム学校について 北から南から：茨城県臨床心理士会 記録的豪雨による茨城県下の災害被災者支援について</p>
No.14	平成 27 年 12 月 15 日	<p>会長挨拶「公認心理師法の成立を受けて」 理事会・代議員会等開催報告 第3期前期第5回理事会、第3期第2回（臨時）代議員会、 第2回全国都道府県臨床心理士会会長、事務局担当者懇談会 公認心理師法成立後の動向 委員会・プロジェクトチームより 災害支援関連の情報 第1回「佐賀県DPAT」研修会 近畿ブロック臨床心理士会主催 被害者支援合同研修会 北から南から：鹿児島県臨床心理士会 職能団体としての成熟とは－JDDネットへの参加から－</p>

(3) 資格問題の諸情報・電子版速報

No.	発行日	主要掲載記事
22	平成 27 年 9 月 9 日	「公認心理師法」の成立を受けて、当会の動き、臨床心理士関係 4 団体関連の動き、他団体等の動き
23	平成 27 年 10 月 19 日	「公認心理師法」の成立と今後に向けて、当会の動き、臨床心理士関係 4 団体関連の動き、他団体等の動き

6. ホームページの利用状況

(1) 会員個人専用ページ（MYページ）利用状況

Web登録会員活用者 11,457名（前年比1,220名増加）

(2) 『臨床心理士に会うには』都道府県別掲載件数

整理番号	都道府県	掲載件数	整理番号	都道府県	掲載件数
1	北海道	12	25	滋賀	2
2	青森	0	26	京都	24
3	岩手	3	27	大阪	50
4	宮城	3	28	兵庫	31
5	秋田	1	29	奈良	10
6	山形	1	30	和歌山	3
7	福島	5	31	鳥取	0
8	茨城	3	32	島根	3
9	栃木	6	33	岡山	6
10	群馬	6	34	広島	14
11	埼玉	29	35	山口	6
12	千葉	12	36	徳島	3
13	東京	139	37	香川	3
14	神奈川	42	38	愛媛	1
15	山梨	4	39	高知	1
16	長野	4	40	福岡	21
17	新潟	5	41	佐賀	1
18	富山	2	42	長崎	2
19	石川	3	43	熊本	6
20	福井	1	44	大分	3
21	岐阜	6	45	宮崎	0
22	静岡	13	46	鹿児島	2
23	愛知	24	47	沖縄	1
24	三重	2	48	その他	3
				掲載件数	522

(3) ホームページ求人情報活用状況

(平成27年4月～平成28年3月掲載)

領域	機関の種類	機関数
保健医療	病院・診療所	118
	精神保健福祉センター・保健所・保健センター	8
	保健医療関係その他	1
福祉	児童福祉施設・機関（児童相談所を含む）	23
	障害者福祉施設・機関	11
	女性福祉施設・機関	0
	福祉関係その他	8
教育	公立教育相談機関・教育委員会	23
	幼稚園・小学校・中学校・高校・予備校	4
	各自治体から派遣SC	9
	教育関係その他	1
大学 研究所	専門学校・短大・大学等（主に教育・研究）	8
	専門学校・短大・大学等（主に相談業務）	28
	研究所・研究機関	5
司法法務 警察 防衛	法務省（矯正保護）関係機関	2
	司法法務警察関係	1
	自衛隊	2
産業労働	独立の健康管理・相談所	30
	産業労働関係	4
私設心理相談	民間心理相談機関	16
	民間心理相談機関その他	1
その他	その他(被災地支援含む)	3
	合計	306

7. 行政機関、他機関・団体への委員・役員等の選出状況

1) 行政機関

府 省	組 織	役職等
法 務 省	「社会を明るくする運動」中央推進委員会	委 員
内 閣 府	自殺対策官民連携協働会議	委 員
文部科学省	いじめ防止対策協議会	委 員
	不登校に関する調査研究協力者会議	委 員
	特別支援教育ネットワーク推進委員会	構成員
厚生労働省	健やか親子21（第2次）推進協議会	参加団体
	チーム医療推進方策検討ワーキング・グループ	委 員
	【委託事業】「こころの耳」委員会 (受託者：社団法人産業カウンセラー協会)	委 員

2) 他機関・団体

機 関・団 体		役職等
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet）		代議員
		理 事
	多職種連携委員会	委 員
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 自殺対策予防総合対策センター	自殺対策ネットワーク協議会	委 員
公益社団法人日本精神神経学会	多職種協働委員会	委 員
	災害支援委員会	委 員
特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD）	政策委員会	委 員
チーム医療推進協議会 (事務局：公益社団法人日本理学療法士協会)		理 事
		代表者会議
		会長会
被災者健康連絡協議会（事務局：日本医師会）		構成団体

8. 後援名義使用承認一覧表

※受理順に記載

主催団体等	日程・名称・テーマ
日本描画テスト・描画療法学会	27.9.4～9.5 日本描画テスト・描画療法学会第25回大会
ヒューマン・ケア心の絆プロジェクト	27.7.1～12.25 ヒューマン・ケア心の絆プロジェクト
日本感覚統合学会研究大会	27.10.31～11.1 第33回日本感覚統合学会研究大会
日本小児診療多職種研究会	27.7.19～7.20 第4回日本小児診療多職種研究会
ACT 全国ネットワーク	27.10.10～10.11 第7回 ACT 全国研修帯広大会
認定特定非営利活動法人 全国被害者支援ネットワーク	27.10.2 全国犯罪被害者支援フォーラム 2015
特定非営利活動法人日本がん・生殖医療研究会	27.10.12 若年性がん患者の妊孕性温存に関する心理支援セミナー
健康生きがい学会	27.11.21～11.22 健康生きがい学会第6回大会
第29回日本エイズ学会学術集会・総会	27.11.29～12.1 第29回日本エイズ学会学術集会・総会
日本精神障害者リハビリテーション学会	27.12.3～12.5 日本精神障害者リハビリテーション学会第23回高知大会
GID（性同一障害）学会	28.3.19～3.20 GID（性同一障害）学会第18回研究大会・総会
第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会	28.5.18～5.21 第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会、 第40回自殺予防学会総会
一般社団法人 日本発達障害ネットワーク	27.11.29 第11回年次大会、研修会共催
公益財団法人 日本精神衛生会	28.3.5 メンタルヘルスの集い（第30回日本精神保健会議）
日本外来臨床精神医療学会	28.2.14 第16回日本外来臨床精神医学会学術大会
公益社団法人日本理学療法士協会	28.5.27～5.29 第51回日本理学療法学術大会
日本小児診療多職種研究会	28.7.30～7.31 第5回日本小児診療多職種研究会
法務省保護局更生保護振興課	28年度 第66回社会を明るくする運動保護観察官による更生保護出張講座
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会	28.3.1 みんなねっとフォーラム 2015
香川県臨床心理士会	28.3.6 自殺予防シンポジウム
日本描画テスト・描画療法学会	28.9.17～9.18 日本描画テスト・描画療法学会第26回大会
公益財団法人こころのバリアフリー研究会	28.6.11～6.12 第3回公益財団法人こころのバリアフリー研究会総会
日本サイコオンコロジー学会	28.9.23～9.24 第29回日本サイコオンコロジー学会総会 北海道 2016
第30回日本エイズ学会学術集会・総会	28.11.24～11.26 第30回日本エイズ学会学術集会・総会

9. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項

(1) 代議員会 (全2回)

第1回 (定時) 代議員会

1. 日 時：平成 27 年 6 月 7 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分
2. 場 所：ステーションコンファレンス万世橋・404
3. 議 案：

第1号議案 平成 26 年度事業報告並びに同決算報告 (案) 承認の件
事業報告書と決算報告書について説明がなされ、その後監査報告が行われ原案どおり承認された。

第2号議案 理事全員任期満了につき選任の件
任期満了に伴う理事候補者選出選挙に基づき、候補者ごとに選任することについて採決し、全候補者が過半数の多数をもって承認され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

第3号議案 監事全員任期満了につき選任の件
監事候補者ごとに選任することについて採決し、両候補者とも過半数の多数をもって承認され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

審議事項は以上で、その後平成 27 年度事業計画ならびに収支予算の報告、各委員会等の時期への申し送り事項等の報告の後、質疑応答及び意見交換が行われた。

第2回 (臨時) 代議員会

1. 日 時：平成 27 年 10 月 12 日 (月、祝) 午後 1 時 30 分～4 時
2. 場 所：ステーションコンファレンス万世橋・406
3. 議 案：

審議事項はなく、公認心理師法の成立を踏まえた会の運営方針及び理事会の検討状況が報告され、質疑応答及び意見交換が行われた。

(2) 理事会 (全7回)

第2期後期第11回理事会

1. 日 時：平成 27 年 5 月 6 日 (水・祝) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室 (太陽館ビル 4F)
3. 議 案：

第1号議案 平成 26 年度事業報告 (案) について

第2号議案 平成 26 年度決算報告 (案) について

第3号議案 平成 27 年度特別会計予算 (案) について

第4号議案 第3期第1回代議員会の議長の選任について

第3期前期第1回理事会

1. 日 時：平成 27 年 6 月 7 日 (日) 午後 3 時 20 分～3 時 50 分
2. 場 所：ステーションコンファレンス万世橋・406
3. 議 案：

第1号議案 代表理事・会長 1 名選定の件

第2号議案 代表理事・副会長 2 名選定の件

第3号議案 専務理事 1 名ならびに常務理事 3 名選定の件

第3期後期第2回理事会

1. 日 時：平成 27 年 7 月 5 日 (日) 午後 1 時 30 分～2 時 50 分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室 (太陽館ビル 4F)
3. 議 案：

第1号議案 委員会委員長及びプロジェクトチーム代表選任の件

第3期前期第3回理事会

1. 日 時：平成27年7月26日（日）午後1時30分～4時50分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室（太陽館ビル4F）
3. 議 案：
第1号議案 委員会及びプロジェクトチームの委員選任の件

第3期前期第4回理事会

1. 日 時：平成27年9月26日（土）午後6時00分～8時00分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室（太陽館ビル4F）
3. 議 案：
第1号議案 公認心理師法の成立を踏まえた当会の運営方針の件
第2号議案 公益認定申請の取り下げの件
第3号議案 臨時代議員会招集の件
第4号議案 臨時代議員会の議長選任の件

第3期前期第5回理事会

1. 日 時：平成27年11月3日（火・祝）午前10時00分～10時50分
2. 場 所：ステーションコンファレンス万世橋・406
3. 議 案：
第1号議案 平成27年度収支補正予算の件

第3期前期第6回理事会

1. 日 時：平成28年3月20日（日）午後1時30分～4時10分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室（太陽館ビル4F）
3. 議 案：
第1号議案 平成28年度事業計画の件
第2号議案 平成28年度収支予算の件
第3号議案 倫理委員会15号案件の処遇解除の件
第4号議案 倫理委員会18号案件の処遇解除の件
第5号議案 事務局支援事業部の役職任免の件

（3）常任理事会（全11回）

- 第2期後期第16回常任理事会：平成27年4月27日（月）午後6時30分～9時00分
第3期前期第1回常任理事会：平成27年6月7日（日）午後4時30分～6時10分
第3期前期第2回常任理事会：平成27年7月5日（日）午後3時00分～5時30分
第3期前期第3回常任理事会：平成27年7月19日（日）午後2時00分～4時30分
第3期前期第4回常任理事会：平成27年9月12日（土）午後7時00分～9時40分
第3期前期第5回常任理事会：平成27年9月23日（水・祝）午後1時00分～3時00分
第3期前期第6回常任理事会：平成27年10月12日（月・祝）午前11時00分～午後12時30分
第3期前期第7回常任理事会：平成27年10月29日（木）午後6時00分～8時30分
第3期前期第8回常任理事会：平成27年11月3日（火・祝）午前9時10分～9時50分、
午後4時10分～5時00分
第3期前期第9回常任理事会：平成27年12月19日（土）午後6時00分～8時30分
第3期前期第10回常任理事会：平成28年3月8日（火）午後7時00分～9時50分

※場所は第3期前期第1回、6回、8回（ステーションコンファレンス万世橋会議室）を除き、
当会会議室（太陽館ビル4F）